

「海学び舎」あらかると啓発事業実施報告書

平成27年12月

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

委員会名簿

(順不動・敬称略)

委員長	(公社)大阪港振興協会事務局長	有田正文
副委員長	(一社)神戸港振興協会専務理事	花木章
委員	近畿旅客船協会事務局長	森木正文
委員	神戸旅客船協会専務理事	山西哲司
委員	近畿内航船員対策協議会事務局長	香川幹夫
委員	大阪市港湾局総務部集客施設担当課長	藤田直一
委員	神戸市みなと総局みなと振興部振興課長	山村昭
委員	(公財)関西交通経済研究センター常務理事	土井眞三
オブザーバー	(独法)自動車事故対策機構大阪主管支所次長	新屋敷昭一
オブザーバー	近畿運輸局海事振興部旅客課長	仲田克美
オブザーバー	神戸運輸監理部海事振興部旅客課長	田中広司
事務局	(公財)関西交通経済研究センター	

目 次

I. 海・船のお話会と体験乗船見学会	
1. 実施概要	1
2. 大阪港実施状況写真	3
3. 絵手紙	6
4. アンケート結果	11
5. 準備資料	12
①募集チラシ	
②参加者抽選会	
③参加者、スタッフ着用帽子（班分け用）	
④当日のしおり（プログラム）	
II. 海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ	
1. 実施概要	14
2. 神戸港実施状況写真	17
3. アンケート結果	20
4. 準備資料	23
①募集チラシ	
②当日のしおり（プログラム）	
III. 海の大切さや魅力を発信するリーダー養成ワークショップ	
1. 実施概要	25
2. プログラム	26
3. ワークショップ写真	29
IV. 実行委員会等開催状況	30
①第1回実行委員会	32
②大阪港分科会	33
③神戸港分科会	34
④第2回実行委員会	35
⑤第3回実行委員会	36
V. マスメディア記事	37
VI. 企画書	41

I. 海・船のお話会と体験乗船見学会

1. 実施概要

海洋国日本の国づくりやまちおこしを担う次世代の小学生、中学生を対象に海の大切さと魅力を知ってもらうことにより、海の恩恵に感謝し、併せて広く海洋について理解、関心を深めてもらうことを目的に、「海・船のお話会と体験乗船見学会」を、7月11日(土)に大阪港天保山にて開催した。

- ・実施場所 大阪港天保山岸壁及び港内
- ・実施日時 平成27年7月11日(土) 09:40~17:00
- ・参加者 97名(スタッフを除く)
 - 小学生 38名
 - 中学生 5名
 - 高校生 7名
 - 保護者 47名(幼稚園児3名含む)

(1) 「サンタマリア」による大阪港周遊(10:00~11:45)

- ① 午前9時40分より受付を開始し、当日5名の欠席者があったが、97名の参加のもと、10時00分、「サンタマリア」をバックに記念撮影し、その後乗船した。
- ② 参加者97名については、1班約17名で6班に分け、班ごとに色分けした帽子を目印に、班行動をしていただくようお願いした。
(1班：白色 2班：黒色 3班：赤色 4班：青色 5班：黄色 6班：緑色)
- ③ 高校生の参加者のうち6名に、各班のリーダーをお願いし、安全行動を重視し、引率及びまとめ役をしていただいた。
- ④ 「サンタマリア」では、乗船から11時00分までの間、特別室にて、2班ごとに3グループに分かれ、「船長によるサンタマリア号にまつわるお話」、「乗組員指導でのロープワーク体験」、「船内及びブリッジ見学」を全員が順次体験した。
- ⑤ 「サンタマリア」は、船内見学終了後、11時00分より大阪港クルーズに出航し、参加者には、潮風を感じながら、大阪港を行き交う様々な船や、海から見るいつもの違う目線から大阪港や沿岸の街並みの様子を楽しんで頂いた。
また、航海中は、船内に隠されたヒントを手掛かりに「サンタマリア」にまつわるクイズ大会を行い、親子で船内探検をしながらの解答探しに大いに盛り上がった。



(2) 大成丸の船内見学 (13:00~15:00)

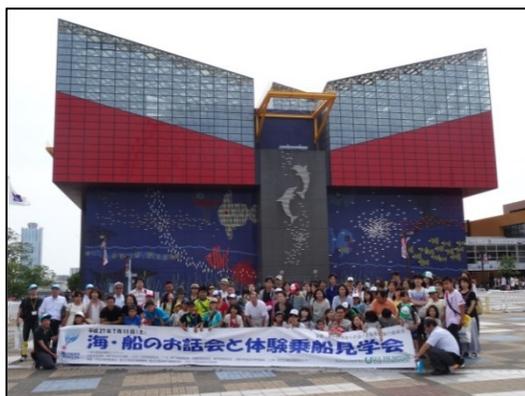
- ① 午後は、航海訓練所の練習船「大成丸」に乗船し、子供達を中心に船内見学を行った。
- ② 2班ごとに3グループにわけ、何層にも亘るデッキを上り下りし、ブリッジ、機関室、航海シミュレーター室、船員食堂、居住区などを見たり体験して回り、航海実習訓練や船内生活の一端を学んで頂いた。
- ③ その後、近畿内航船員対策協議会の上窪講師から「海の大切さと船員の仕事」をテーマにお話をいただいた。



資源が乏しく、海に囲まれた日本という国は、資源や製品の輸出入など海運なくして成り立たないことや船員の仕事内容などを、優しい語り口で、非常に分かり易くお話しして頂き、子供達からもたくさんの質問や答えが飛び交い、海の大切さを学ぶ上で非常に有意義な時間を過ごすことが出来た。

(3) 海の生物観察 (15:00~17:00)

- ① 大阪が誇る水族館「海遊館」に入館し、「探検ノート」を片手に家族と共に海の生物を観察したり、触れ合うなどして、より深く海に関心を抱いて頂いた。
- ② 特に、海の生物との触れ合いでは、「サメ」や「エイ」に直に触れるなど、その感触を確かめる体験ができた。



(4) 絵手紙の作成

- ① 参加者から、「海学び舎絵手紙」(はがきサイズ)を当センター宛てに投函していただくようお願いしたところ、下記の送付があり、その内容に応じて、サンタマリア、大成丸、海遊館に取り次いだ。
- ② その結果、それぞれより、小中学生に対し励ましや御礼の返事を当事務局を通じて発信させていただき、より一層、海に対する関心を抱いていただくことが出来た。

- 絵手紙総数 44枚
- 内訳 (別添絵手紙参照)
 - サンタマリア 8枚
 - 大成丸 7枚
 - 海遊館 29枚

2. 海・船のお話会と体験乗船見学会実施状況写真

平成 27 年 7 月 11 日（土）実施

サンタマリアによる大阪港周遊



船長挨拶及びお話



ロープワーク



ブリッジ見学



船内施設説明



航海訓練所練習船「大成丸」見学



大成丸船長挨拶



船内見学



操船シュミレーション



ブリッジ説明



エンジンルーム説明

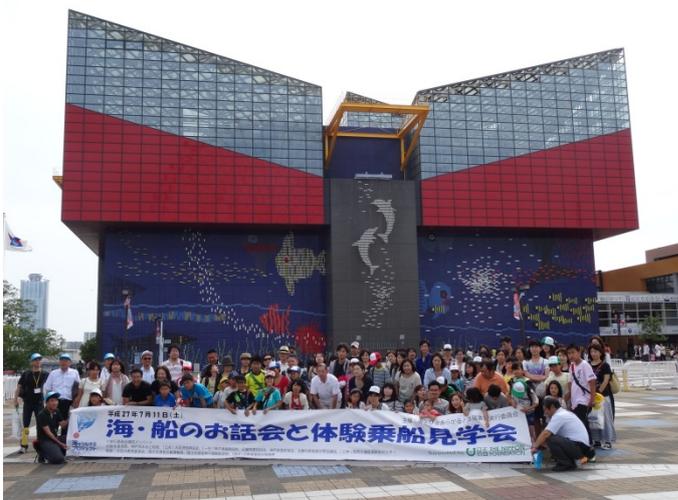


上窪会長講義

海の大切さと船員の仕事などのお話



海の生物観察（海遊館）



3. 絵手紙

「海学び舎」あらかると啓発事業

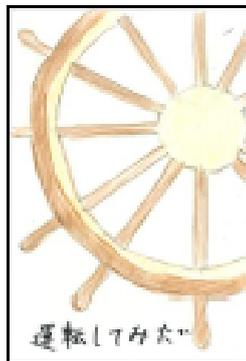
海・船のお話会と体験乗船見学会

(サンタマリア絵手紙) 平成27年7月11日(土)

1 小学4年生



2 中学1年生
(No.3と同一人物)



3 中学1年生



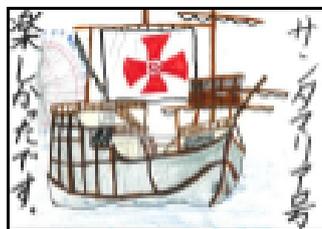
4 小学5年生



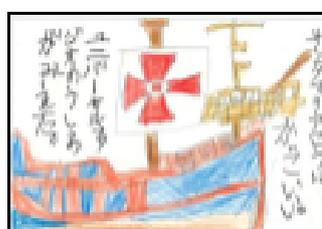
5 中学1年生



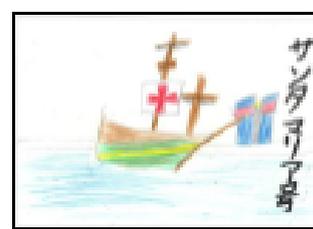
6 小学5年生



7 小学2年生



8 小学4年生



(海遊館 絵手紙) 平成27年7月11日(土)

1 小学4年生



2 幼稚園6歳



3 小学3年生



4 小学3年生



5 小学4年生 (No.5、No.6 同一人物)



6 小学4年生



7 小学6年生 (No.7、No.8 同一人物)

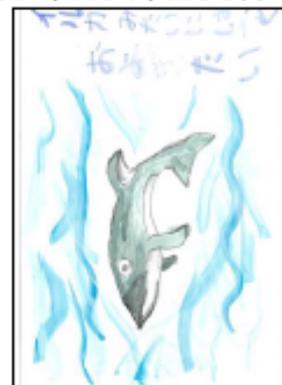


8 小学6年生



9 保護者

(No.9、No.10、No.11 同一人物)



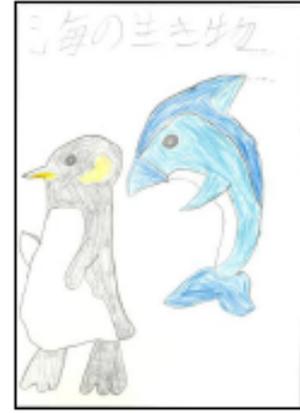
10 保護者



11 保護者



12 小学6年生



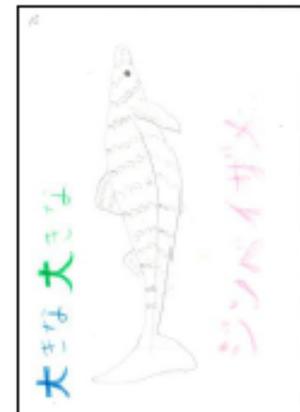
13 高校1年生
(No.13、No.14、No.15、No.16 同一人物)



14 高校1年生



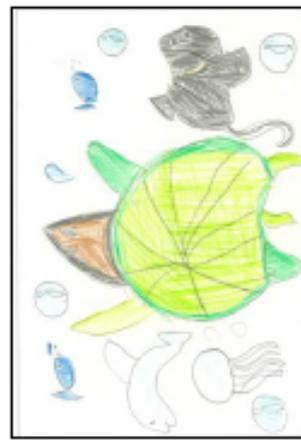
15 高校1年生



16 高校1年生



17 小学6年生



18 小学6年生



19

小学4年生

(No.19、No.20 同一人物)

(No.19、No.20 同一人物)



20

小学4年生



21

小学5年生

(No.21、No.22、No.23、No.24 同一人物)



22

小学5年生



23

小学5年生



24

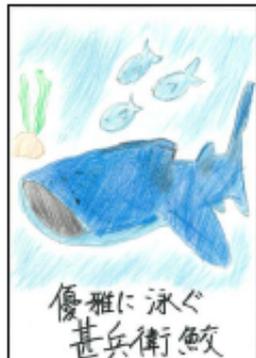
小学5年生



25

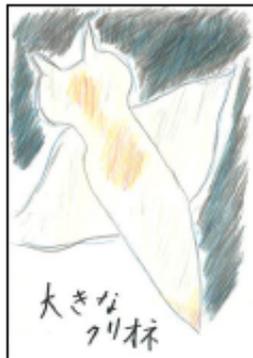
中学1年生

(No.25、No.26 同一人物)



26

中学1年生



27

小学5年生

(No.27、No.28 同一人物)



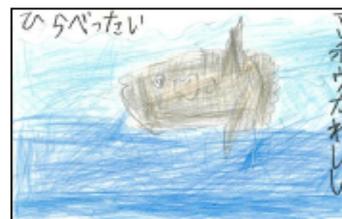
28

小学5年生



29

小学2年生



4. アンケート結果

「海・船のお話会と体験乗船見学会」アンケート		集計結果
		平成27年7月11日(土)開催
問1.	今回の体験乗船見学会はどのようにして知りましたか。	
	1.小学校の先生に教えてもらった	2
	2.家族に教えてもらった	30
	3.友達に教えてもらった	5
	4.その他	15
		52
	(その他)・NASVA友の会で募集用紙がきたから ・お母さんの会社から教えてもらった ・学校から手紙をもらって知った ・会社の上司 ・ハンジ一舎	
問2.	参加して一番楽しかったこと、面白かったことをふたつ選んでください。他にあれば自由に書いてください。	
	1.サンタマリアの見学	18
	2.サンタマリアでの探検問題	12
	3.漁や船の話しを聞けたこと	6
	4.大成丸の船長室やいろんな所を見学できたこと	37
		73
	(その他)・ハイキング ・原食・自由行動 ・(大成丸)特に機械(エンジン)を動かすのが楽しかった。 ・サンタマリアが動いたこと、ご飯がおいしかったこと。 ・楽しかった	
問3.	7月の第三月曜日は国民の祝日、海の日です。知っていましたか。	
	1.知っていた	28
	2.知らなかった	21
		49
問4.	今日の体験乗船見学会に参加して、海や船に関する事に興味をもちましたか。	
	1.はい	23
	2.少し興味をもちた	21
	3.いいえ	5
		49
問5.	こうしたイベントが開催されれば次も参加したいですか。	
	1.参加したい	25
	2.都合がつけば参加したい	22
	3.参加しない	2
		49
【その他意見】	・写さないで。載せないで。 (保護者より) ・お茶や帽子が支給される事は事前の案内で連絡してほしかったです。資料やお茶、帽子などの支給は非常に有難いですが、すーっとその荷物を持つての移動は帽子がふさがってしまいい大変でした。解散時に渡して頂けたかったです。楽しかったです。ありがとうございました。	

うみ みるね ほんまのい だいけんしんじょうせんあんがくかい
海・船のお話会と体験乗船見学会アンケート

今日の体験乗船見学会にご参加いただきありがとうございます。以下の質問にお答えください。ご協力をお願いします。

問1 今回の体験乗船見学会はどのようにして知りましたか。

1. 小学校の先生に教えてもらった。
2. 家族に教えてもらった。
3. 友達に教えてもらった。
4. その他 ()

問2 参加して一番楽しかったこと、面白かったことをふたつ選んでください。他にあれば自由に書いてください。

1. サンタマリアの見学。
2. サンタマリアでの探検問題。
3. 漁や船の話しを聞けたこと。
4. 大成丸の船長室やいろんな所を見学できたこと。

()
()

問3 7月の第三月曜日は国民の祝日、海の日です。知っていましたか。

1. 知っていた。
2. 知らなかった。

問4 今日の体験乗船見学会に参加して、海や船に関する事に興味をもちましたか。

1. はい。
2. 少し興味をもちた。
3. いいえ。

問5. こうしたイベントが開催されれば次も参加したいですか。

1. 参加したい。
2. 都合がつけば参加したい。
3. 参加しない。

ご協力ありがとうございました。

④当日のしおり（プログラム）

【当日の集合場所は、下記をご覧ください。】

のりばご案内



海をつなげるプロジェクト THE NIPPON FOUNDATION

海・船のお話会と体験乗船見学会のしおり

平成27年7月11日（土）開催

この度、海洋国家日本の国づくりや街おこしを担う次世代の小学生・中学生の皆さんに、海の大切さと海の魅力向上を知ってもらうことにより、海の恩恵に感謝し、あわせて広く海洋についての理解と関心を深めてもらうことを目的に、体験乗船&海遊館見学ツアーを開催します。海を満喫する一日をご家族と共に過ごして下さい。

主催：海の学び舎あらかると啓発事業実行委員会
 （事務局）公益財団法人関西交通経済研究センター
 ☎：06-6543-6291 Mail：a.kankou@kankouken.org

※当日は、ご家族単位で参加を行います。移動などは主催スタッフが引率をしますが、各プログラム中は、原則として単独行動をお願いします。（海遊館を除く）
 ※プログラムの円滑な進行のため、所定のスケジュールについては、時間厳守にご協力をお願いします。
 ※プログラムの都合により、主催者にて集合写真を撮りますので、スタッフの挨拶、指示にご協力下さい。
 ※本イベントの事業報告のため、期間中主催者にて適宜写真撮影をします。撮影した写真の一部は事業報告書に掲載する等、主催・後援関係団体等で活用する場合がございますので、ご理解をお願いします。
 ※イベント中は、適宜水分補給を行い、熱中症の他、健康管理、怪我等に各自十分にご注意下さい。
 ※突然の気象の変化、船舶の都合などにより、プログラムを変更する場合がございます。
 ※船内での行動時は、危険を伴う場合もありますので、主催者および船員の指示に必ずご協力下さい。
 ※イベント参加中に怪我や事故が発生した場合には、加入のイベント保険制度以内での補償となります。

【受付時間】 9:40~10:00
【受付場所】 海遊館西はとば のりば

10:00 「サンタマリア号」 船内見学
 一般客の乗船前に、本イベント参加者だけを対象に特別に船内を開放致します。思っ存分「サンタマリア号」の中を探検できます！！

11:00 「サンタマリア号」 出港
 45分間の大阪湾クルーズに出発です。陸から見る光景とは違った、海から見る大阪湾の姿をお楽しみ下さい。色々な形の船が行き交っていますよ。

11:45 ランチタイム
 （場所：天保山マーケットプレイス内「カフェテラコッタ」）
 ジュッフェスタイルのレストランです。テザートメニューも盛りだくさんです。お隣一杯召し上がって下さい。

12:50 航海練習所訓練船「大成丸」の船内見学とお話会
 船員さんを養成する3000トン級の大きな船です。船内では操舵室、機関室など普段では見ることが出来ないスポットを見ることが出来ます。速路のような船内ですから、迷わないようにしてね！

15:10 「海遊館」で海の生物を観察しよう
 ジンベイザメで有名な「海遊館」に入ります。日本や世界の海にはどんな生き物がいるのか見てみましょう。色々な新しい発見がきっとありますよ！！

*「海遊館」入館後は自由解散となります。

参加者（小学生・中学生）へのお願い
 このイベントにご参加いただき、印象に残った内容（船や海のお話や港の風景など）をハガキの裏面に絵手紙として絵や感想などを書いていただき、後日実行委員会事務局宛に投函をお願い致します。
 *ハガキは本イベント当日に参加者にお配り致します。

Ⅱ. 海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ

1. 実施概要

海洋国日本の国づくりやまちおこしを担う次世代の大学生に広く海洋について理解、関心を深めて貰い、今回の参加者が、海について更に若い世代を導く先導役として活躍することを目的に、「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」を7月25日(土)に神戸海洋博物館ホール及び神戸港にて実施した。

- ・実施場所 神戸海洋博物館、神戸港中突堤及び神戸港周辺
- ・実施日時 平成27年7月25日(土) 12:30~17:00
- ・参加者 74名 (スタッフを除く)
 - 大学生 68名
 - 講師、教員 6名

(1) セミナーの開催(12:30~15:00)

- ・会場：神戸海洋博物館ホール

①森田 潔 氏(一般社団法人神戸港振興協会経営管理部参事)

○テーマ 「四面を海に囲まれた我が国の海洋文化の発展」

○講演概要

神戸港を題材に、我が国の海を通じた文化交流の歴史に始まり、現代の神戸と世界との経済的な繋がりに至るまで、非常に分かり易くお話を頂いた。



②加藤 琢二 氏(ジャンボフェリー 株式会社代表取締役会長)

○テーマ 「瀬戸の島々と神戸」

○講演概要

高松と小豆島を經由して神戸港を結ぶフェリー事業を展開された経緯と、神戸と瀬戸内海の島々の遥か昔から現代に至るまでの結びつき、そして、船でしか行けないポテンシャルの高い魅力的な観光スポットのご紹介など「海からの視点と魅力」のお話を頂いた。



③青谷 実知代 氏（神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科都市生活専攻准教授）

○テーマ 「クルーズを通じた観光の楽しみについて」

○講演概要

実際にゼミ生と巡った瀬戸の島々でのフィールドワークを題材に、若者目線での地元の魅力の発信について報告があった。関係者からは普段大人目線でしか見られていない中で、非常に大胆で、新鮮な発想であり、是非参考にしたいとの積極的な評価もあった。



④ 参加した学生たちは、初めて学ぶ神戸港の歴史や役割、関西と瀬戸内海の関わり、そして、海を活用した観光の楽しみ方等について、目を輝かせながら、興味深く講師の話に聞き入っていた。

（２）神戸港クルーズの実施（15:30～17:00）

① セミナー会場に隣接する神戸港中突堤から高速船「かぜ」（99G/T、定員 166 名、速度 29 ノット）をチャーターし、セミナー参加者を対象に神戸港クルーズを実施した。

本クルーズにおいては、みなとまちづくりマイスター（一般社団法人ウォータフロント会認定）でもある森田潔氏に、セミナーに引き続いて、船内でのガイド役をお引き受け頂いた。

② 中突堤を出航した船は、海上自衛隊の潜水艦が建造されることで有名な川崎重工株式会社神戸工場や、同じく大規模な造船所がある三菱重工株式会社神戸造船所を右手に見て港内を南下し、2006 年開港の神戸空港の西沖に進んだ。



③ 空港を離発着する飛行機を仰ぎ見ながら、船は Uターンし、人工島ポートアイランドに沿って港内を北上し、東に舵を切って、人工島六甲アイランドに進んだ。

六甲アイランドでは、ガントリークレーンが林立し、接岸する巨大なコンテナ船に忙しくコンテナを積み込むシーンを海側から間近に観察することが出来た。その他、神戸港内を忙しく行き来する、内航貨物船、タグボート、はしけ、海上保安庁大型巡視船、護衛艦、潜水艦、長距離大型フェリー、レストラン船など、海で働く数多くの船を目の当たりにし、それぞれの大きさや役割等を学習することが出来た。



- ④ ガイド役の解説に耳を傾けながら、普段とは異なる海からの神戸の街並みや海を歩き交う様々な船に、参加者は頷いたり、船の大きさに驚いたりしながら、海を知り、海に興味をもってもらったり、海からの恩恵を感じることが出来る実りあるひと時を、神戸港で過ごしていただいた。

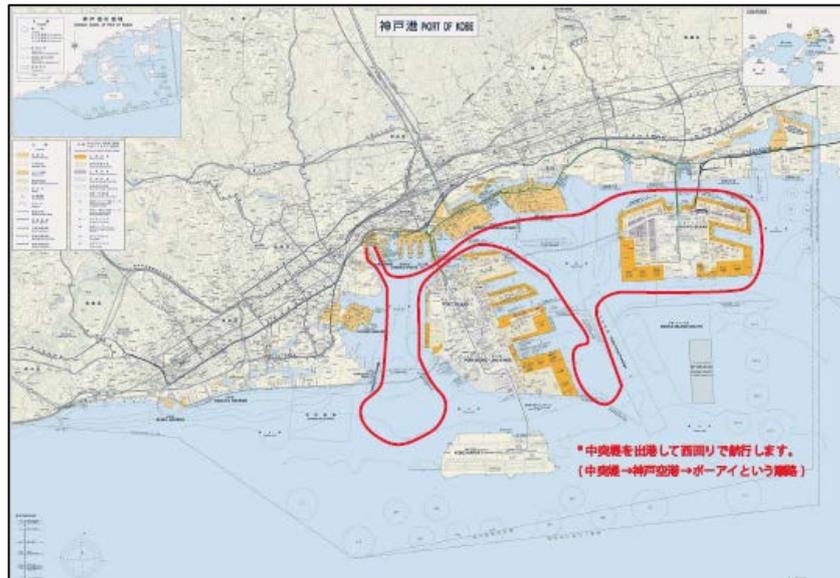
(参考) 1. 使用船舶

旅客船「かぜ」(99G/T、定員166名、29ノット)

神戸ー関空ベイシャトルの予備船

2. コース

神戸中突堤発→神戸空港沖→六甲アイランド→神戸中突堤着



2. 「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」実施状況写真

1. セミナー（神戸海洋博物館ホール）



開会挨拶



講演 1 (森田潔氏)



講演2 (加藤琢二氏)



講演3 (青谷実知代氏)



2. 神戸港クルーズ

高速船「かぜ」



乗船前集合



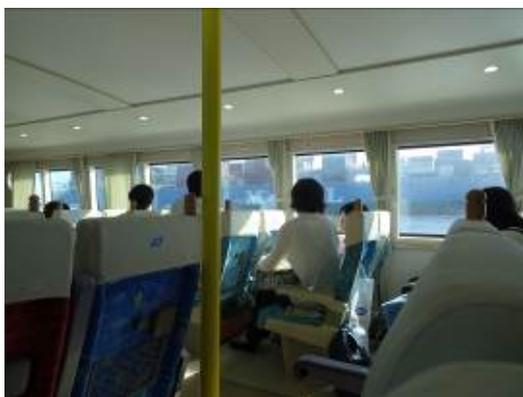
船内風景 1



船内風景 2



船内風景 3



船内風景 4



船内風景 5



下船後

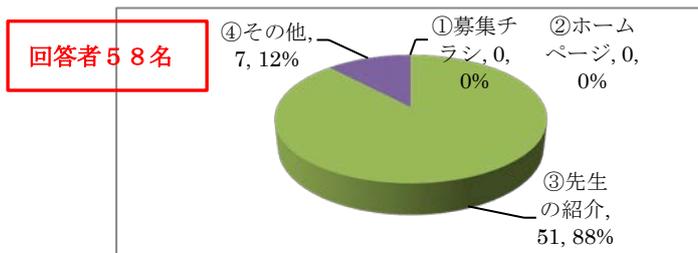


海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズアンケート結果

平成27年7月25日開催

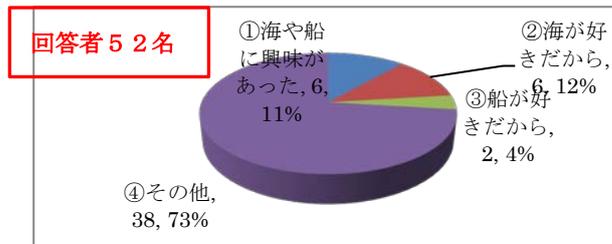
問1. このイベントは、何でお知りになりましたか

- ① 募集のチラシ ② ホームページ
③ 大学の先生からの紹介 ④ その他



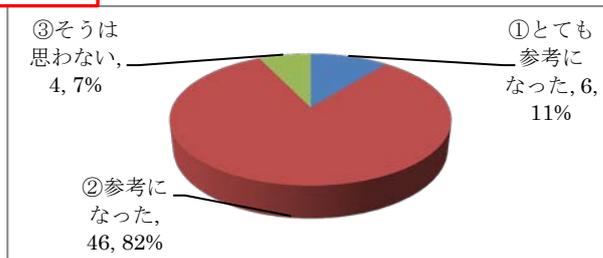
問2. このイベントに参加された理由についてお尋ねします。

- ① 海や船に興味があった ② 海が好きだから
③ 船が好きだから ④ その他



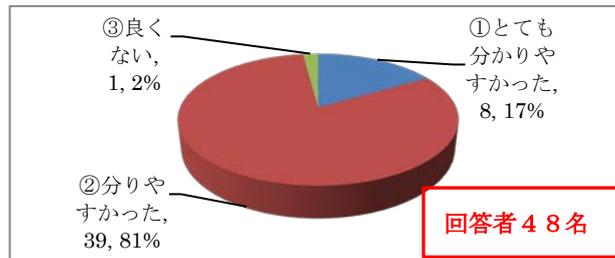
問3. セミナーでの話しの内容は、いかがでしたか

回答者 56名



問4. クルーズでの説明は、いかがでしたか

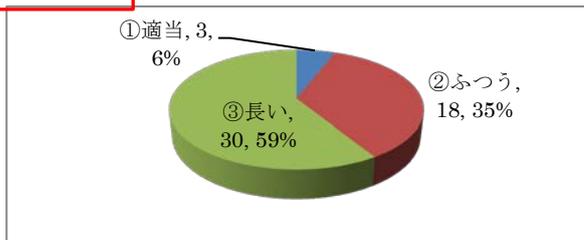
- ① とてもわかりやすかった
② わかりやすかった ③ よくない



問5. イベントの時間配分はいかがでしたか

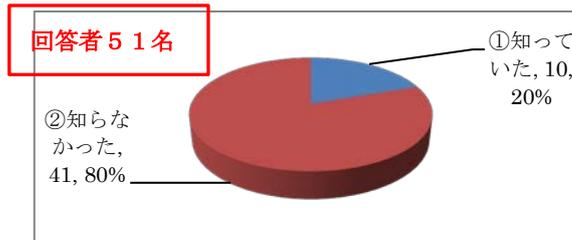
- ① 適当 ② ふつう ③ 長い

回答者 51名



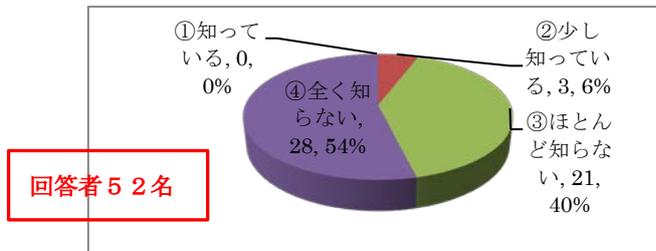
問6. 四面を海に囲まれた日本は、海洋国家として海から多くの恩恵を受けており、7月の国民の祝日「海の日」は、こうした「海の恩恵に感謝し、海洋国家の繁栄を願う」という趣旨で制定されたものですが、「海の日」の趣旨をご存じでしたか。

- ① 知っていた ② 知らなかった



問7. 日本は海からの恩恵を受け、海運業、造船業といった海事産業から、マリンスポーツといったレジャーまで、海に関わる活動が盛んに行われていますが、海運や、造船、船で働く船員についてご存じですか。

- ①知っている ②少し知っている
③ほとんど知らない ④全く知らない

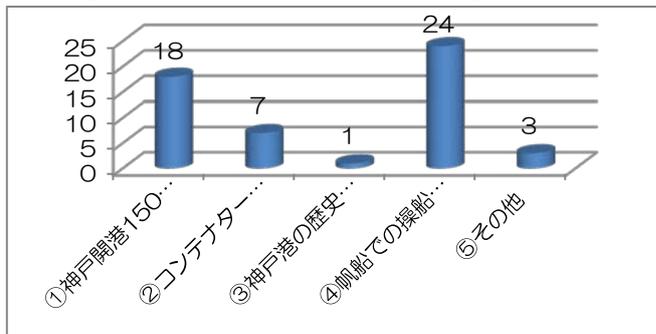


問9. 現在の船は、貨物を運ぶものが中心で、貨物の種類などによって船の形や仕組みさまざまにわかれています。コンテナ船や自動車専用船など専用船と言いますが、他に知っている専用船があればお答えください。

- (回答) クруз船、天然ガス専用船、大型船を牽引する船、救急船、保安船、消防船、ガスを運ぶ船、LNG、貿易船
(以上、各1件ずつ回答あり)

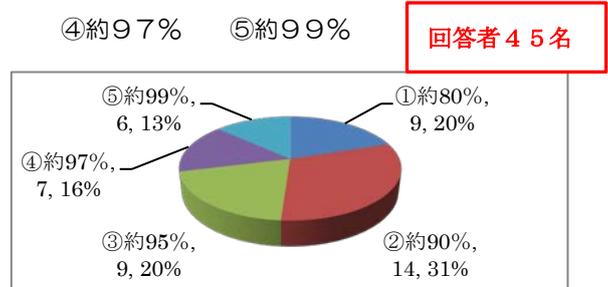
問11. 神戸港は2017年1月開港150年を迎えます。今後、様々な行事を行っていく予定ですが、どのような行事に参加したいですか？(複数回答可)

- ①神戸開港150年プレイベント
②コンテナターミナルや倉庫などの見学
③神戸港の歴史や将来構想などが学べるセミナー
④帆船での乗船作業体験 ⑤その他

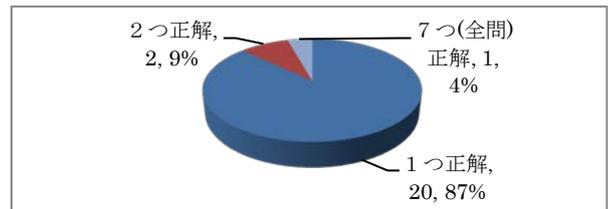


問8. 日本はエネルギー資源の多くを輸入に頼っており現在のエネルギー自給率は約4%となっています。石油、石炭、天然ガスなどのエネルギー資源を含め、外航海運が外国貿易の貨物全体でどれくらいを運んでいるかご存知ですか。

- ①約80% ②約90% ③約95%
④約97% ⑤約99%



問10. 世界の7つの海について、知っているだけ書いてください。



* その他の不正解回答

35件	太平洋								
27件	大西洋								
20件	日本海								
16件	地中海								
11件	東シナ海								
10件	カリブ海								
9件	瀬戸内海								
8件	カスピ海								
6件	オホーツク海								
4件	南シナ海	エーゲ海							
3件	黒海	北海	紅海						
2件	死海	インドシナ海							
1件	ベルシャ湾	ベンガル湾	黄河	北海道	瀬戸内海	大西洋			

その他の記述回答>>

- ・船から港に向かってリボンを投げてみたい。
- ・今日のようなガイド付きクルーズ、森田さん解説素晴らしかったです。
- ・もう一度乗りたいです。

4. 準備資料

①募集チラシ

(表面)

(裏面)

**海の大切さや魅力を発信する
リーダー養成セミナーとクルーズ**

日時：平成27年7月25日(土)【開場 12:00】12:30～17:00
場所：神戸海洋博物館ホール
定員：100名(大学生を対象とします。)
*応募者多数の場合は、抽選を行います。

参加無料

神戸港を拠点として、若者(大学生)を対象に我が国の海洋文化の発展や海に伝わる歴史等を学びたい、併せて、神戸から神戸港とその沖合の楽しみなどを再発見して頂くことを目的に開催致します。

★★★リーダー養成セミナー★★★

講演① 12:40～13:20
一般社団法人神戸港振興協会 経営管理部 部長
森田 運 氏
テーマ「国際を海の囲まれた我が国の海洋文化の発展」

講演② 13:20～13:50
加藤学園株式会社 代表取締役社長
神戸大学海事科学研究所 客員教授
加藤 隆二 氏
テーマ「瀬戸の島々と神戸」

講演③ 14:00～14:30
神戸松蔭女子学院大学
人間科学部生活学科都市生活専攻 准教授
青谷 美知代 氏
テーマ「クルーズを通じた観光の楽しみについて」(仮題)

「神戸港・明石海峡大橋周遊クルーズ」15:30～17:00
コース：神戸港中突堤→神戸空港沖→明石海峡→神戸港中突堤
旅客船：「かぜ」(99G/T、定員166名、29ノット)
*船主一層御座、スタッフが船中へご案内致します。
*当日の乗船は変更になる場合がございます。

主催：海学び舎あらかると啓発事業実行委員会
(事務局)公益財団法人関西交通経済研究センター

神戸港・明石海峡大橋周遊クルーズ

「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー＆クルーズ」の開催にあたり、参加いただいた大学生には、本イベントを通じて感じた海の魅力、海の楽しみなど、facebookなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)を通じて、積極的に情報発信をお願い申し上げます。海に囲まれた海洋国家日本を、将来を担う若者に元気づけて貰うため積極的な情報発信をお願い致します。

★ワークショップ開催のご案内(平成27年10月～12月開催予定)
「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー＆クルーズ」編に、ご参加いただいた大学生を対象に「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成ワークショップ(仮称)」の開催を予定しています。皆様、海との関わりを通じて再発見された想い、気づきについて発表、取りまとめを予定していますので、奮ってご参加下さい。詳細決定次第、本ワークショップについて参加者にお知らせ致します。

海学び舎あらかると啓発事業実行委員会
事務局(公益財団法人関西交通経済研究センター) 行

海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー＆クルーズ 参加申込書

下記応募事項を記入の上、FAXまたはメールにてお申込み下さい。申込締切日：平成27年7月10日(金)必着

■ご所属大学名

■ご住所(〒)

TEL: FAX: メールアドレス:

■お申込者氏名

生年月日(西暦)： 年 月 日

FAX番号 06-6543-6295 Mailアドレス: a.kankou@kankouken.org

*セミナー費は本応募書受付に別途請求する予定です。*ご記入頂きました個人情報、本資料以外には一切開示しません。
*応募者多数は、抽選をメールにてお返答いたしますので、抽選が行ってご返信下さい。抽選者多数により開催が行われた場合には抽選・抽選者の都合等により変更になる場合がございます。

主催：海学び舎あらかると啓発事業実行委員会
実行委員会メンバー
大阪府教育委員会(神戸市) 神戸港振興協会、近畿港務協会、神戸港務船協会
多摩川航運株式会社(神戸) 関西交通経済研究センター
敬請予定：公益財団法人関西交通経済研究センター(発注) 公益財団法人海学び舎あらかると啓発事業実行委員会
お問い合わせ先 実行委員会事務局
〒550-0005 大阪府西成区本町1-2-2 フォレストウェストウェリアビル7階
電話 06-6543-6291 FAX 06-6543-6295 a.kankou@kankouken.org

②当日のしおり（プログラム）

海をつながるプロジェクト THE NIPPON FOUNDATION

**海の大切さと魅力を発信する
リーダー養成セミナーとクルーズ**

プログラム

平成27年7月25日(土)12:30～17:00
神戸海洋博物館ホール

主催：海学び会あらかると啓発事業実行委員会
(事務局)公益財団法人関西交通経済研究センター

神戸港を拠点に若者（大学生）を対象に我が国の海洋文化の発展や海に関わる歴史等を学んでいただき、併せて、海上から神戸港とその沖合の営みなどを再発見していただくことを目的に開催いたします。

★★★リーダー養成セミナー★★★

講演① 12:50～13:30
一般社団法人神戸港振興協会 経営管理部 参事
森田 潔 氏
テーマ「四面を海の開かれた我が国の海洋文化の発展」

講演② 13:30～14:00
ジャンボフェリー株式会社 代表取締役会長
神戸大学大学院 海事科学研究科 客員教授
加藤 琢二 氏
テーマ「瀬戸の島々と神戸」

講演③ 14:10～14:40
神戸松蔭女子学院大学
人間科学部生活学科都市生活専攻 准教授
青谷 実知代 氏
テーマ「クルーズを通じた観光の楽しみについて」

神戸港中突堤を出発し、神戸港沖、ポートアイランド、六甲アイランドを周航して、再度、中突堤に戻って参ります。いつもとは違う視点として、海上から神戸港とその沖合の営みなどを再発見して下さい。

神戸港周遊クルーズの航路(約90分を予定しています。)

【船酔い予防の約】
船酔い防止薬(PH97、薬量 166mg、75mg)を事前に服用し、船内設備の便所を利用してください。

*航路、航行時間は変更となる場合がありますので、予めご確認下さい。

お知らせお願い

- ★「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」参加レポートの作成と提出
「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」にご参加の、本日の講演について、或いは、神戸港周遊クルーズで見たり、感じたことなどをA4用紙2枚程度にまとめて頂き、「海学び会あらかると啓発事業実行委員会事務局（公益財団法人関西交通経済研究センター）」宛に、郵送、FAX、又は、メールにてご提出をお願い致します。（優先はプログラム裏面をご参照下さい。）
- ★「海の営み・海の魅力」の情報発信のお願い
「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」へ、ご参加頂いた学生には、イベントを通じて感じた海の魅力、海の営みなど、facebookなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)を通じて、積極的に情報発信をお願いいたします。海に生まれた海洋国家日本を、将来を担う若者に元気づけて貰うため積極的な情報発信をお願い致します。
- ★ワークショップ開催のご案内(平成27年10月～12月開催予定)
「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」へ、ご参加頂いた学生を対象に「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成ワークショップ(仮称)」の開催を予定しています。皆様、海との関わりを通じて再発見された思い、気づきについて発表、取りまとめを予定していますので、奮ってご参加下さい。詳細決定次第、本ワークショップについて参加者にお知らせ致します。

メモ欄(ご自由に書き下さい。)

主催：海学び会あらかると啓発事業実行委員会
実行委員会構成メンバー
神戸みなと観光、大阪市港局、(一社)神戸港振興協会、(公財)兵庫港振興協会、神戸港防衛協会、近畿港湾協会
近畿内航運振興協会、(公財)船政交通経済研究センター
兵庫県教育委員会、(社)船政運輸、神戸運輸振興(株)、白鳥海事学院

実行委員会事務局
公益財団法人関西交通経済研究センター 事務局
〒250-0802 大阪府堺市東区1-2-10 エス・エス・エスビル4F
電話 06-6343-6291 FAX 06-6343-6292 [kankai@kankai.or.jp]

Ⅲ. 海の大切さや魅力を発信するリーダー養成ワークショップ

1. 実施概要

海洋国家日本の国づくりやまちおこしを担う次世代の大学生に広く海洋についての理解や関心を深めていただき、海洋について更に若い世代を導く先導役として活躍していただくことを目的に開催した。

- ・実施場所 神戸海洋博物館ホール
- ・実施日時 平成 27 年 10 月 18 日（日）14:00～17:00
- ・参加者 21 名（大学生 7 名、講師等 2 名、実行委員等 12 名）

（1）ワークショップの開催（14:00～16:00）

①講演（京都工芸繊維大学 大学院専任講師 佐々木 厚司）

○テーマ 「京都のまちづくりから見た地域コラボレーション」

○講演概要

これまで、京都において「まちづくり」に取り組んでこられた経緯等を報告していただき、リーダー養成という観点から、地域との連携や小学生等との連携を通じたまちづくりなどのお話をいただいた。

その後、引き続いて京都工芸繊維大学の参加者から、それぞれ、地域での活動や取り組み状況を報告していただいた。

②報告

平成 27 年 7 月 25 日（土）に、当神戸海洋博物館ホールで開催したセミナーとクルーズに参加していただいた、2名の大学生に感想等を含めた報告をしていただき、引き続き、本年3月に小豆島クルーズされた方からその感想を報告していただいた。

③意見交換

神戸松蔭女子学院大学の青谷実知代准教授をコーディネーターに次のテーマで意見交換を実施した。

- ・京都のまちづくりに参画している学生の規模や準備期間、地域との連携のタイミング等
- ・地域と交流しながら、観光商品を作っている取組みについて
- ・海にまつわるエピソードや経験について
- ・今後、小中学生に教えていくうえで力をつけたいこと及び海の魅力をどのように伝えたいか。

（2）懇談会の開催（16:00～17:00）

2. 当日プログラム



海の大切さや魅力を発信する リーダー養成ワークショップ

日時：平成27年10月18日(日)14:00～17:00
場所：神戸海洋博物館ホール・研修室

神戸港を拠点として、若者(大学生)を対象に我が国の海洋文化の発展や海に係わる歴史等を学んで頂き、併せて、今後海の大切さや魅力を発信するリーダーとして活躍出来る人材の養成を目指してワークショップを開催致します。

★★★★リーダー養成ワークショップ★★★★

講演 14:05～14:50
 京都工芸繊維大学・大学院
 工芸科学研究科 専任講師
 佐々木 厚可 氏他
 テーマ「京都のまちづくりから見た
 地域コラボレーション」

報告 15:00～15:30
 神戸松蔭女子学院大学の学生より発表
 ＊7/25(土)に実施した「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」に参加された学生

意見交換 15:30～15:50
 ～コーディネーター～
 神戸松蔭女子学院大学
 人間科学部生活学科都市生活専攻 准教授
 菅谷 実知代 氏



アクセス
 市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分
 阪神「元町駅」から徒歩約15分
 神戸交通(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分

*講演者、テーマは変更になる可能性があります。

懇親会 16:00～17:00

軽食、スイーツ、ソフトドリンクなどをご用意しています。海の魅力についてゆっくりお話ししましょう。



主催：海学ひきあらかると普及事業実行委員会
実行委員会構成メンバー
 神戸市みなと総局、大阪市港湾局、(一社)神戸港振興協会、(公社)大阪港振興協会、神戸旅客船協会、近畿旅客船協会
 近畿内航船員対策協議会、(公財)関西交通経済研究センター
後援：大阪市教育委員会、近畿運輸局、神戸運輸監理部、(独法)自動車事故対策機構

4. ワークショップ写真

日時:平成 27 年 10 月 18 日 (日)

会場：神戸海洋博物館ホール

ワークショップ会場



京都工芸繊維大学 佐々木先生



京都工芸繊維大学 全さん



京都工芸繊維大学 山中さん



京都工芸繊維大学 榎本さん



京都工芸繊維大学 辻本さん



神戸松蔭女子学院大学 青谷先生



神戸松蔭女子学院大学 荻田さん



神戸松蔭女子学院大学 遠藤さん



神戸松蔭女子学院大学 多田さん



意見交換会



IV. 「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会等開催状況

- 第1回実行委員会 平成27年 6月12日(金)
- 大阪港分科会 平成27年 7月 7日(火)
- 神戸港分科会 平成27年 7月16日(木)
- 第2回実行委員会 平成27年 9月14日(月)
- 第3回実行委員会 平成27年12月11日(金)

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会規約

【名称】

第1条 本会は、「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

【目的】

第2条 実行委員会は、海洋国日本の国づくりや街おこしを担う次世代の小学生、中学生などの若者の皆さんに、海の大切さと海の魅力を知ってもらうことにより、海の恩恵に感謝し、併せて広く海洋についての理解と関心を深めてもらうための必要な事業を行うことを目的とする。

【事業】

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 海洋文化の発展、海に係る歴史等の修得を目的とした体験会の実施
- (2) 海の重要性を啓発出来るリーダーの養成
- (3) 前2号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため必要な事項に関すること。

【構成員】

第4条 委員会は、別表に掲げる団体等によって構成する。なお、新たな構成員への参画は、実行委員会の承認を得るものとする。

【役員】

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) その他にオブザーバーを置くことができる。

【役員の職務】

第6条 委員長は、実行委員会の会務を総理し、実行委員会を代表する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

【役員の選任】

第7条 実行委員会の委員長は、委員の互選により定める。

- 2 実行委員会の副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

【任期】

第8条 役員及び委員の任期は、実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員のうち機関、団体等の代表者であるものが当該機関、団体等の代表者でなくなった場合は、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

【会議】

第9条 実行委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 実行委員会の会議は、次に掲げる事項を審議し、議決する。
 - (1) 事業に関する開催計画
 - (2) 事業に関する予算及び決算
 - (3) 実行委員会規約の制定及び改正
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、事業目的の達成に関する重要な事項
- 3 実行委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することができない。
- 4 実行委員会の議事は、出席委員の過半数の同意をもって可決し、可否同数の場合は委員長がこれを決する。

【事務局】

第10条 実行委員会の事務を処理するため、(公財)関西交通経済研究センター内に事務局を置く。

【解散】

第11条 実行委員会は、その目的が達成されたとき解散する。

【雑則】

第12条 この規約に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、委員長が実行委員会の会議に諮って定める。

附則 この規約は、平成27年6月12日から施行する。

第1回実行委員会

<p>(第1回)</p> <p>「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会</p> <p>日 時：平成27年6月12日(金) 14時00分～16時00分 場 所：大阪弥生会館 2F六甲</p> <p>議 事 次 第</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 委員長選任</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 実行委員会規約の制定について</p> <p>(2) 「海学び舎」あらかると啓発事業について ・企画書、スケジュールについて ・事業経費について</p> <p>(3) 今後の委員会等スケジュールについて</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会</p> <p>※資料 ・実行委員等名簿、配席図 ・実行委員会規約 ・「海学び舎」あらかると啓発事業企画書 ・事業経費明細 ・募集チラシ(大阪、神戸)</p>

<p>「海学び舎」あらかると啓発事業第1回実行委員会議事録</p> <p>1. 日 時：平成27年6月12日(金) 14時00分～16時00分 2. 場 所：大阪弥生会館 2F六甲 3. 出席者</p> <p>○委員 (公社)大阪港振興協会 事務局長 有田正文 (一社)神戸港振興協会 専務理事 花木 章 近畿旅客船協会 事務局長 森木正文 神戸旅客船協会専務理事 山西哲司 神戸市みなと総局みなと振興部振興課長 山村 昭 代理出席：みなと総局振興課 廣瀬 奈苗 (公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三</p> <p>○オブザーバー 近畿運輸局海事振興部旅客課長 仲田克美 代理出席：旅客課岡田係長 神戸運輸監理部海事振興部旅客課長 田中広司 (独法)自動車事故対策機構大阪主管支所次長 新屋敷昭一</p> <p>○協力 大阪市港湾局総務部集客施設担当 担当係長 金光尚美</p> <p>○事務局 (公財)関西交通経済研究センター 松野、勝山</p> <p>4. 議事概要</p> <p>(1) 委員長、副委員長は下記のとおり選任された。 委員長 (公社)大阪港振興会事務局長 有田正文 氏 副委員長 (一社)神戸港振興協会専務理事 花木 章 氏</p> <p>(2) 実行委員会規約の制定について事務局より説明し、全員一致で原案どおり承認された。</p> <p>(3) 企画案及び事業経費について事務局より内容説明し、原案どおり全員一致で承認された。</p> <p>5. 主な質問・意見等 (意見) ・募集チラシの神戸について、講演者、テーマが変更になるということであるので、チラシの下に講演者、テーマについては、変更になる場合がありますと注記をする方がよい。</p>
--

<p>(質問)</p> <p>・神戸でのクルーズについて、海や船、港湾など海上での説明により理解を深めて頂くとするが、海上で説明されるという事ですか？ (A) 使用船舶は、高速船で航行中外出られないため、どのようにして外を見てもらうかを検討しているところ。また、説明は、ブリッジから船内放送をさせていただくことを考えている。現在、説明していただく方を探しているところ。 花木委員より神戸港振興協会の森田さんにお問い合わせするという提案あり。</p> <p>(質問)</p> <p>・神戸について、リーダ育成ということであり、今回きちんと勉強していただき、来年度、実際にこの方たちをリーダとして小学生等に教えて頂くことを考えておられるのか？ (A) 今回、参加していただいた大学生の方々には、来年度実施するときに一緒に乗船していただくことを考えている。(全員ではないが)そこで、グループ長として乗船していただくことも考えている。</p> <p>・事務局より追加説明 神戸の事業の展開の仕方であるが、初年度は大学生を中心にしているが、次年度は、神戸地域等(芦屋、西宮、その他)の小中学生に広げていくことも考えている旨説明。</p> <p>6. 事務局より下記提案をしたところ、全員了解していただいた。 ①第2回目の実行委員会の開催について 大阪と神戸と分科会として委員の方々も大阪と神戸に分かれて打合せ等を進めていく。 第3回目は、全員で実施、また、必要であれば、追加で開催も考えている。</p> <p>7. 事務局より下記についてお願いした ・当日のスタッフについて、皆さんの機関でお手伝いいただける人数を後日で連絡していただきたい。 ・各委員で当日配付資料があればお知らせいただきたい。</p> <p>8. 配付資料 ・実行委員等名簿、配席図 ・実行委員会規約 ・「海学び舎」あらかると啓発事業企画書 ・事業経費明細 ・募集チラシ(大阪、神戸)</p>
--

大阪港分科会

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会大阪分科会

—海・船のお話会と体験乗船見学会—

日 時：平成27年7月7日（火）
09時30分～11時00分
場 所：大阪港振興協会会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 題

- (1) 現在の準備状況
- (2) 大阪港クルーズタイムスケジュールと役割分担について
- (3) 荒天等の対応（中止 or 順延）
- (4) 大阪港天保山岸壁現地確認
サンタマリア、昼食会場等
- (5) その他

「海学び舎」あらかると啓発事業大阪分科会議事録

1. 日 時：平成27年7月7日（火）9時30分～10時30分
2. 場 所：大阪港振興協会 会議室
3. 出席者(11人)

(公社) 大阪港振興協会 事務局長 有田 正文
(公社) 大阪港振興協会 総務課長 出水 幸恵
近畿旅客船協会 事務局長 森木 正文
近畿内航船員対策協議会 事務局長 香川 幹夫
大阪市港湾局総務部集客施設担当 担当係長 金光 尚美
(独法) 自動車事故対策機構大阪主管支所長 黒田 唯雄
近畿運輸局海事振興部次長 吉田 憲史
大阪水上バス附営業部係長 中嶋 英順
(公財) 関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三
○事務局
(公財) 関西交通経済研究センター 松野、勝山

4. 議事概要

- (1) 事務局より、7月7日までの準備状況を説明。
 - ①最近までの動き
 - ②募集チラシ
 - ③参加者応募抽選状況説明
 - ・平成27年7月2日（木）抽選実施
 - ・応募者144名
 - ・当選者104名
 - ④参加者名簿
 - ・1班から6班にわけ、各班に班長を置く（高校生）
 - ⑤当選者通知
 - ・7月3日発送（参加証、しおり、集合場所地図同封）
 - ⑥落選者通知
 - ・7月3日発送
 - ⑦横断幕見本説明
 - ⑧帽子とランドリーバック見本説明
 - ・帽子 1班（白）2班（黒）3班（赤）4班（青）5班（黄色）
6班（緑）、スタッフは、青色

・ランドリーバック

1班、2班（白） 3班、4班（青）5班、6班（緑）

⑨サンタマリアたんけん問題案

⑩見学会アンケート案

⑪配付物の説明

・各機関で配付物がある場合は、事前に水上バスに送付することとした。

(2) 体験乗船見学会のスケジュールとスタッフ役割分担案の説明

(3) 天保山岸壁及びサンタマリア下見を実施

神戸港分科会

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会神戸分科会
 一海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズー

日 時：平成27年7月16日(木)
 11時00分～12時00分
 場 所：神戸港振興協会会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 分科会議長挨拶

3. 議 題

- (1) 現在の準備状況
- (2) 神戸港セミナー&クルーズタイムスケジュールと役割分担について
- (3) 荒天等の対応(中止 or 順延)
- (4) その他

「海学び舎」あらかると啓発事業神戸分科会議事録
 一海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズー

1. 日 時：平成27年7月16日(木) 11時00分～12時00分
 2. 場 所：神戸港振興協会 会議室

3. 出席者(11人)
- | | |
|------------------------|------------|
| (一社) 神戸港振興協会 参事 | 森田 潔 |
| (一社) 神戸港振興協会 主査 | 岡山 明義 |
| 神戸旅客船協会 専務理事 | 山西 哲司 |
| 神戸市みなと総局 みなと振興部振興課長 | 山村 昭 |
| 神戸運輸監視部 海事振興部旅客課長 | 田中 広司 |
| (株) OMこうべ | 竹内 |
| (公財) 関西交通経済研究センター 常務理事 | 土井 真三 |
| | 業務部長 松野 佳幸 |
| | 業務部 勝山 嘉久 |

4. 議事概要

(1) 事務局より、7月16日までの準備状況を説明。

- ①最近までの動き
- ②ホール配置について
- ③スタッフ帽子見本説明・横断幕見本説明
- ④クルーズコース説明
- ⑤発着桟橋 中突堤6番
- ⑥アンケート案の説明
- ⑦スタッフ連絡先の依頼
- ⑧参加者応募状況説明
 - ・平成27年7月16日現在
 - 神戸松蔭女子学院大学 64名
 - 神戸山手大学 12名
- ⑨配付物の説明
 - ・各機関で配付物がある場合は、事前に神戸港振興協会に送付することとした。
 - ⑩募集チラシ

※意見、質問

- ・ホールの配置について、机がある方がよいのか、階段席(164席)ではどうですか。(方針) 参加者は階段席とし、関係者は、前に机を置く。
- ・吊看板とたて看板は、神戸港振興協会に作成依頼した。大きさは、振興協会のステージの大きさに合わせることにし、原稿は、関交研から示すこととした。
- ・アンケート内容について、神戸の港に関する質問も取り入れたらどうか。(方針) 各委員等から案を頂くこととした。

(2) 事務局より、タイムスケジュールと役割分担について説明

- ・講演時間を当初の12時40分開始を10分遅らせ、12時50分からとし、順次

10分遅らせている。

- ・各機関のスタッフ人数と役割については、全員賛同をいただいた。
- ・写真は、手の空いている人は撮影していただく。
- ・司会、関交研の若林で行う。
- ・乗船、下船については、チケット2枚(色違い)作成し、乗船時と下船時にいただく。ゲートで乗組員1名と当方スタッフ1名があたる。
- ・2階席 約50人であるが、航行中は移動を避けること。
- ・森田さんは、航行中にブリッジで案内をお願いした。

※意見、質問

- ・乗船は6番ですか。
 - A:6番で乗下船する。船の入り口と桟橋の高さの関係でパレットを敷いて調整する。
- ・集合写真の場所は？
 - A:ゲートの西側がよい。
- ・お茶の手配について
 - 120本を神戸港振興協会にお願した。(5ケースで、領収書はレシートとした。)
- ・スタッフ弁当について
 - スタッフは、弁当を研修室で11時以降随時食べることにし、神戸港振興協会より発注していただくこととした。(お茶付で1,000円 9人分) 11時配達
- ・配付資料について
 - みなと総局は、クルーズ資料とかうちわ等がある。
 - 振興協会有
 - 直に振興協会に送付し、当日の朝、詰めることとする。

(3) 事務局より、参加者について委員の方々に応答協力をお願いした。

(4) 当日の取材について

- ・みなと総局より神戸新聞に投げかけていただく。
- ・神戸監視部より、海事記者会に投げ込むことは可能とのこと。

(5) 荒天時の対応、中止、順延について

- ・中止の場合は、7月24日(金) 17時現在で決定することとした。
- ・海洋博物館使用可能日 8月30日、9月21日、22日、23日、26日

(6) その他、

- ・船は、14時10分に着岸する。
- ・帰港時は、17時のファンタジーが出港してから着岸する。
- ・当日は、軽装とする。

第2回実行委員会

(第2回)

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

日 時：平成27年9月14日(月)
15時30分～17時30分
場 所：大阪弥生会館 3F羽衣

議 事 次 第

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 題
 - (1) 「海学び舎」あらかると啓発事業実施報告
 - (2) 今後の委員会等スケジュールについて
 - (3) 次年度事業について
4. その他
5. 閉 会

※資料 ・ 実行委員等名簿、配席図
・ 「海学び舎」あらかると啓発事業実施報告書

「海学び舎」あらかると啓発事業 第2回実行委員会議事録

1. 日 時：平成27年9月14日(月) 15時30分～17時30分
2. 場 所：大阪弥生会館 3F羽衣
3. 出席者
 - 委員 (公社)大阪港振興協会 事務局長 有田 正文
(一社)神戸港振興協会 専務理事 花木 章
近畿旅客船協会 事務局長 森木 正文
神戸旅客船協会 専務理事 山西 哲司
近畿内航船員対策協議会 事務局長 香川 幹夫
神戸市みなと総局 みなと振興部振興課長 山村 昭
大阪市港湾局総務部集客施設担当 担当係長 金光 尚美
(公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三
 - オブザーバー
近畿運輸局 海事振興部旅客課長 仲田 克美
神戸運輸監視部 海事振興部旅客課長 田中 広司
(独法)自動車事故対策機構大阪支所次長 新屋敷 昭一
 - 事務局 (公財)関西交通経済研究センター 松野、勝山
4. 議 事
 - (1) 海学び舎あらかると啓発事業の実施報告
 - (2) 今後のスケジュール
 - (3) 次年度事業について
5. 主な質問・意見等
 - 【花木委員】
 - ・小大連携プロジェクトにおいて、本当に大学生を対象にリーダー養成を目指すのであれば、船舶や海洋について学んでいる、或いは職を目指している学生を対象にしたセミナーでないといけないのではないか。
 - ・例えば、神戸大学海事科学部、大阪府立大、商船系の学校等の学生が相応しいのではないか。
 - ・少なくとも、7/25 に神戸海洋博物館で実施したセミナーに参加した女子大生の受講の様子を見る限り、海に関心がある、或いは海のことを自分より下の世代に伝える意欲があるとは見受けられない。

【土井委員】

- ・事業成果のマスメディアでの報道の有無に日本財団は重きを置いている。神戸学院大学のプラスバンドがクルーズ船の出迎え演奏をしている事例もある。我々の事業でもそのような連携によって世間の目を引く取り組みが必要でないか。
- ・或いは、海保や消防との連携も世間の注目を惹くと思う。

【花木委員】

- ・神戸港で活動しているボランティアやNPO法人の方たちは船や港に関心を持っている。そういう方たちと普段から連携を大切にすることを必要を感じる。

【金光委員】

- ・大阪府が実施しているクルーズ体験募集は、市広報誌とwebサイトで行っている。
- ・市の事業では応募者の抽選は10倍程度の競争率となっている。
- ・市のクルーズ募集事業については、乗船者が参加できる船内での特別なプログラムは用意していない。
- ・今年度事業では市広報誌への掲載は時期が間に合わなかったが、次年度検討するのであれば、2ヵ月前に申込みが必要。記事が未定でも枠だけ押さえる手もある。
- ・次年度はフェリーを活用しての事業提案があったが、フェリーには東西甲板があるので、そこにコンテンツを積載したトレーラーを乗せて、参加者が見学できる見せ方はどうか。普段近くで見られないシーンなので迫力があると思う。

【有田委員】

- ・大きな船に乗ったことが無い人にとっては、そういう船に乗るだけでも十分楽しめるものだと思う。

【森木委員】

- ・昼間のフェリーのチャーターの件だが、船員のやり取りの問題があり、次年度開交研が想定するような事業のために、これまで通りフェリーを利用できるかという点、そのハードルは高いと考える。

【田中委員】

- ・次年度開交研が神戸で実施を目指している小大連携のクルーズ事業であるが、神戸港150周年にかかる神戸市申請事業でも子供を船に乗せる事業が予定されている。
- ・つまり類似事業として扱っているので、どちらかの事業が成立しない可能性がある。
- ・日本財団が強調する教育委員会や学校との連携の話は、単に教委や学校を通じて事業趣旨の周知や子供連れの募集に関与して貰うのではない。
- ・海の大切さや恵について教育プログラムに反映させることを目論んでいると思う。

【土井委員】

- ・田中委員の話は、事業申請を通じて開交研が日本財団の担当職員から聞いている話と随分異なる。

【有田委員】

- ・私の経験から言うと、船や港を体験する催事への学校現場レベルの教師の関心は高いと思う。

- ・但し、教委など現場レベルに落ちる前の段階での折衝、理解を得ることが困難である。
- ・田中委員の発言を受けると、今後は特定の小学校を一本釣りして参加をお願いするなどしかない。
- ・集めることが出来ないのであれば、逆に出前講座的に相手方へ向うくやり方もあるのではないか。

【事務局】

- ・10/18(日)に神戸クルーズにかかるワークショップを予定している。
- ・各委員の皆様も可能な限りご参加頂きたい。
- ・12月を以て第3回委員会を開催したい。
- ・第3回委員会では、10/18ワークショップの報告を含めた最終報告書案を提示したい。
- ・本日議論して頂いた次年度採択へ向けたステップアップした事業について、次回委員会では各委員から事業の提案を頂戴したい。

第3回実行委員会

(第3回)

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会

日 時：平成27年12月11日(金)
10時00分～13時00分
場 所：中央電気倶楽部 212号室

議 事 次 第

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 題
 - (1) 「海学び舎」あらかると啓発事業について
大阪、神戸での実施報告
 - (2) 2016年度(平成28年度)事業計画の検討について
 - (3) 今後のスケジュールについて
4. その他
5. 閉 会

※資料 ・実行委員等名簿、配席図
・「海学び舎」あらかると啓発事業実施報告書

「海学び舎」あらかると啓発事業 第3回実行委員会議事録

1. 日 時：平成27年12月11日(金) 10時00分～12時00分
2. 場 所：中央電気倶楽部 212号室
3. 出席者
 - 委員 (公社)大阪港振興協会 事務局長 有田 正文
(一社)神戸港振興協会 専務理事 花木 章
近畿旅客船協会 事務局長 森木 正文
神戸旅客船協会 専務理事 山西 哲司
近畿内航船員対策協議会 事務局長 香川 幹夫
神戸市みなと総局 みなと振興部振興課 廣瀬 奈苗(代理)
大阪市港務局総務部集客施設担当 担当係長 金光 尚美(代理)
(公財)関西交通経済研究センター常務理事 土井 眞三
 - オブザーバー
近畿運輸局 海事振興部旅客課長 仲田 克実
神戸運輸監理部 海事振興部旅客課長 田中 広司
(独法)自動車事故対策機構大阪支所次長 新屋敷 昭一
 - 事務局
(公財)関西交通経済研究センター 松野、勝山
4. 議 事
 - (1) 「海学び舎」あらかると啓発事業について 大阪、神戸での実施報告
 - (2) 2016年度(平成28年度)事業計画の検討について
 - (3) 今後のスケジュールについて
5. 主な質問・意見等
 - 【有田委員】
 - ・100人規模で街歩き、造船所めぐりをするNPO団体がある。対象者は比較的高齢者。
 - ・昨年、堺港の大型LNG船を見学した。
 - ・本企画でも実施して、子供たちに10万トンの大型船を見せられるとインパクトがある。堺港であれば、観光バス2台チャーターすれば100人規模は運べる。
 - 【香川委員】
 - ・帆船「みらいへ」を使えば40人規模で宿泊体験もできる。宿泊出来れば子供たちも喜ぶ。
 - ・メインの体験とするには難しいが、大阪湾の清掃船を見せるのも、海を学ぶ上で良い体験となる。2隻あるはずだ。
 - 【有田委員】
 - ・清掃船の見学であれば、土日でも可能かも知れない。
 - ・総合学習の機会に組み入れて頂くのも一案であるが、2～3時間の尺であれば大丈夫だが、半日や泊となると厳しいと思う。余程理解のある校長でないとお駄目だ。

- ・入港予定が変わって空振りする可能性もあるが、大型船が入港する予定日に合わせて、本企画でフェリーを借りて行うのも一案かと思う。
- 【有田委員】
 - ・船内レクレーションや船内の講義を行うだけではつまらない。一般的には船から海を眺める体験だけで喜んで帰って行く方々も多い。
- 【香川委員】
 - ・深江丸を使えば時間を有効に使えるのではない。また、宿泊も可能かと思う。
- 【森木委員】
 - ・例えば淡路島へ行くとして、片道をバスで行くのも探りうるのではない。
- 【香川委員】
 - ・船対協でかつて奈良県天川村へ出前講座をしたことがある。
 - ・一般的には就職を機に離村せざるを得ない中、船員になると村を離れずに済むと説明したところ、かなり食いついて来た。しかし、全村で中学生は30名規模だった。
- 【土井委員】
 - ・別事業であるが、山梨県の子供が横浜港を見学する申請が採択されている。
 - ・山の子が海を清掃体験するような内容も良いのではない。
- 【香川委員】
 - ・逆に海の子が山へ森林体験するのも良いかも知れない。
- 【土井委員】
 - ・神戸と大阪を一体化して事業を行うと手間が掛からず、効率化を図れる。
- 【金光委員】
 - ・大阪市、神戸市で市広報紙を活用して周知をすると、応募者多数で収集がつかなくなると思う。抽選作業も大変になると想像する。
 - ・フェリーを活用して1日乗船するにしても、船内プログラムを考えないと間延びすると思う。
- 【田中オブザーバー】
 - ・そもそも継続採択された場合でも最大3年であるが、今事業を検討するに際しては、助成は出ないが4年以降の事業の継続性も見据えて検討する必要があると思う。
- 【新屋敷オブザーバー】
 - ・交通違反を対象とした体験学習事業は、事故対としては継続して実施したいと思っている。
 - ・山の子という、奈良県でも違反は20名程度いると思う。
- 【仲田オブザーバー】
 - ・日本丸、海洋丸の誘致となると、かなり厳しいと思う。
- 【香川委員】
 - ・上原会長の参加については、大丈夫である。但し、次年度は本年度よりも多忙となると思う。
- 【事務局】
 - ・今後の日程、次年度予定を説明し、次年度以降の本委員会の継続を議場で確認した。

- 【田中オブザーバー】
 - ・宮崎カーフェリーが宮崎県日向市と組んで、今年度震災20年の節目に、20年前に被災し無事で日向市に招待された本人を核として、神戸市内で学校単位で個人参加応募した参加者と、今年再度日向市へ行き地元小学生と交流するイベントを実施した。
 - ・個人参加者は有料で募集し、規模は200名程度だった。
 - ・今年度の企画は日本財団へ申請したものではなかったが、次年度は同じ企画で財団へ申請する可能性がある。
 - ・今年度の海のサポートプログラムの受け付け時期が遅かったという意見があったので、申請時期を1月～3月に早めるという話を聞いている。
 - ・これまで海、港、船というキーワードに縛られていたが、次年度の申請受付についてはキーワードに縛られず日本財団は検討する可能性があるとのこと。但し、申請内容の検討は厳しくなるだろうとのこと。
 - ・尚、事業内容が本年度と変わり映えしない、繰り返しの内容では採択の可能性は低い。
- 【事務局】
 - ・今年度実施して分かったことだが、採択された事業の評価は、取材の有無、多寡でされる。
- 【花木委員】
 - ・今年度参加した学生が、次年度リーダー役として次年度の企画に乗って来てもらいたい。
- 【有田委員】
 - ・かつての「あこがれ」に携わった方々が、ボランティアグループを結成しているので、リーダー役になってくれるのではない。
- 【田中オブザーバー】
 - ・「みらいへ」を使って、2班80人乗船して行った場合でも、1日では帰港出来ないのではない。
- 【森木委員】
 - ・フェリーの確保について、必要であれば共に経営者層へ頼みます。
- 【金光委員】
 - ・大阪府で毎年行っているクルーズでは、乗船後募集した方々へは、船内では何もプログラムを提供していない。
 - ・次年度フェリー活用を検討するのであれば、船内プログラムを企画すれば、市の催事と差別化を図れるのではない。
 - ・また、先程アイデアとして出た清掃船の見学や、フェリー内でトレーラーや荷役風景を見ることが出来れば学習要素を持たせることが出来るのではない。
- 【事務局】
 - ・大阪府はクルーズ企画について、日本財団へ事業申請される。
- 【金光委員】
 - ・港務局の総務担当が担当している。具体的にはまだ来年度のことは進んでいないと思う。
 - ・毎年行っているクルーズ催事について、今のところ市の予算が毎年付いているので、市単独で日本財団へ事業申請することはないと思う。
- 【花木委員】
 - ・本年度の特組みを大切したら良いと思う。大阪市、神戸市の独自事業を共に行ったり、或いは連携し合ったりする必要はないと思う。

V. マスメディア記事

「大阪・神戸でのクルーズ体験と海洋学習」マスメディア掲載について				
No.	掲載媒体	掲載日	見出し	記事内容
1	海事プレス	2015.7.8	「海学び舎」、大阪港と神戸港でイベント	別添資料1参照
2	日刊海事通信	2015.7.8	海の魅力を発信するリーダー養成セミナー 大学生を対象に神戸港で開催	別添資料2参照
3	日刊CARGO	2015.7.8	大阪・神戸港でイベント 海学び舎	別添資料3参照
4	日本海事新聞	2015.7.13	25日に養成セミナー 神戸港周遊クルーズも	別添資料4参照
5	海事プレス	2015.7.14	大阪港で海・船の体験見学会	別添資料5参照
6	ジャパン SHIPPING ニュース	2015.7.24	大阪湾クルーズ体験、小中高生97名参加など ＝日本財団、20日海の日よりさまざまなイベント＝	別添資料6参照
7	海事プレス	2015.7.28	大学生向けリーダー養成セミナー 海学び舎事業、神戸で開催	別添資料7参照
8	日刊CARGO	2015.7.31	海学び舎事業、神戸で開催 大学生向けリーダー養成セミナー	別添資料8参照

資料1 海事プレス (2015.7.8)

海事プレス 2015年7月8日(水)

第三種郵便物認可

9

「海学び舎」、大阪港と神戸港でイベント

「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会は今年、大阪港と神戸港で海の大切さや魅力を知ってもらうイベントを開催する。近畿運輸局が7日発表した。今月、「海でつながるプロジェクト」が全国で行われており、その一環として実施する。

同委員会は海事思想の普及を目的に今年から事業をスタート。メンバーは大阪市港湾局、神戸市みなと総局、大阪港振興協会、神戸

港振興協会など参加。事務局は公益財団法人関西交通経済研究センター。

大阪港では11日、「海・船のお話会と体験乗船会」を開催する。小学生とその保護者100人が参加。遊覧船「サンタマリア」による大阪湾クルーズの後、航海訓練所の練習船「大成丸」の船内を見学。水族館「海遊館」を楽しむ。募集は終了している。

神戸港では25日、大学生100人

を対象に「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー」を開催する。会場は神戸海洋博物館。神戸港振興協会の森田潔参事、加藤汽船の加藤琢二社長、神戸松蔭女子学院大学の青谷実加代准教授が講演する。セミナー後、神戸港周遊クルーズを行う。参加費は無料だが、事前申込制（申込締切7月10日）。申込方法など問い合わせ先は関西交通経済研究センター（電話06-6543-6291）。

資料2 日刊海事通信 (2015. 7. 8)

(第三種郵便物認可)

日刊海事通信

2015年(平成27年)7月8日(水)

海の魅力を発信するリーダー養成セミナー 大学生対象に神戸港で開催

大阪市港湾局、神戸市みなと総局、大阪港振興協会、神戸港振興協会、近畿旅客船協会、神戸旅客船協会などをつくる「海学び舎あらかると啓発事業実行委員会」は25日、神戸海洋博物館・ホールで大学生を対象に「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」を実施する。

セミナーでは、森田潔・神戸港振興協会経営管理部参事が「四面を海の囲まれた我が国の海洋文化の発展」、加藤琢二・加藤汽船社長(神戸大学海事科学研究科客員教授)が「瀬戸の島々と神戸」、青谷実知代・神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科都市生活専攻准教授が「クルーズを通じた観光の楽しみについて」(仮題)と題して講演。この後、神戸港中突堤から旅客船「かぜ」(99 総トン)

に乗船し、神戸空港沖や明石海峡大橋を周遊するクルーズを行う。問い合わせは、実行委員会事務局の関西交通経済研究センター業務部(☎06-6543-6291)。

三洋海運、新役員体制(6月29日)

▽代表取締役社長 三木孝幸
▽常務取締役 <昇任>吉村眞一
▽取締役 南部修治
▽取締役<小名浜支店長> <新任>鈴木一之
▽取締役<海務部長> <新任>西浦 亨
▽取締役<営業部長> <新任>伊藤 忠
▽取締役<総務部長> <新任>荒井正樹
▽監査役 甲高利美
※なお、三木正子前取締役会長は非常勤相談役に、伊藤茂前取締役は常任顧問にそれぞれ就任。

資料3 日刊CARGO (2015. 7. 8)

大阪神戸港でイベント
海学び舎
「海学び舎あらかると啓発事業実行委員会」は、今月、大阪港と神戸港で海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーを開催する。近畿運輸局が7日発表した。今月、「海でつながるプロジェクト」が全国で行われており、その一環として実施する。同委員会は海事思想の普及を目的に今年から事業をスタート。メンバーは、大阪市港湾局、神戸市みなと総局、大阪港振興協会、神戸港振興協会など参加。事務局は、公益財団法人関西交通経済研究センター。大阪港では11日、「海・船のお話と体験乗船会」を開催する。小学生とその保護者100人が参加。遊覧船「サンタマリア」による大阪湾クルーズの後、航海訓練所の練習船「大成丸」の船内を見学。水族館「海遊館」を乗しむ。募集は終了している。神戸港では25日、大学生100人を対象に「海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー」を開催する。会場は神戸海洋博物館。神戸港振興協会の森田潔参事、加藤汽船の加藤琢二社長、神戸松蔭女子学院大学の青谷実知代准教授が講演する。セミナー後、神戸港周遊クルーズを行う。参加費は無料だが、事前申込制(申込み締め切り7月10日)。申し込み方法など問い合わせ先は、関西交通経済研究センター(☎06-6543-6291)。

資料4 日本海事新聞 (2015. 7. 13)

近畿運輸局
25日にリーダー養成セミナー
神戸港周遊クルーズも
国土交通省近畿運輸局は7日、海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズを25日に神戸市内で開催すると発表した。主催は神戸・大阪両港の関係官民で構成する「海学び舎あらかると啓発事業実行委員会」(事務局・関西交通経済研究センター)。大学生などを対象に、わが国の海洋文化の発展や海に関わる歴史を紹介するとともに、海上から神戸港と沖合の営みなどを再発見してもらう。
リーダー養成セミナーは、神戸海洋博物館ホールで午後0時40分〜2時半(正午開場)。神戸港振興協会経営管理部の森田潔参事、加藤汽船の加藤琢二社長らの講演を予定する。
その後は、神戸港中突堤から旅客船に乗船し、「神戸港・明石海峡大橋周遊クルーズ」(午後3時半〜5時)を行う。

資料5 海事プレス (2015. 7. 14)

海事プレス 2015年7月14日(火) 第三種郵便物認可

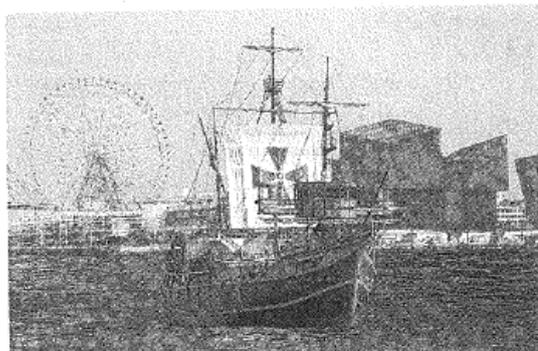
9

大阪港で海・船の体験見学会

『海・船のお話会と体験乗船見学会』が11日(土)、大阪港で催され、招待された約100人の小学生を主体とする家族が大阪湾遊覧船“サンタマリア号”乗船や航海訓練所練習船“大成丸”見学、『海遊館』での生物観察などを楽しんだ。

この体験乗船見学会は『海の学び舎あらかると啓発事業実行委員会』が企画、主催したもの。同委員会は大阪港振興協会、神戸港振興協会、近畿旅客船協会、神戸旅

客船協会、大阪市港湾局、神戸市みなと総局などから構成され、関西交通経済研究センターが事務局を務めている。見学会の開催は今回が初めて。所要資金のほとんどは日本財団が負担した。来年度以降、規模をさらに拡大しての開催が検討されている。



“サンタマリア号”

資料6 ジャパン SHIPPING ニュース (2015. 7. 24)

ジャパン SHIPPING ニュース 平成27年7月24日(金)

(第3種郵便物認可)

◆大阪湾クルーズ体験、小中高校生 97 名参加など = 日本財団、20 日海の日よりさまざまなイベント =

日本財団は、20 日「海の日」より、海をめぐるさまざまなイベントを行っており、概要を次のとおりまとめた。なお、各イベントの詳細については、日本財団ブログ「ソーシャルイノベーション探訪」(<http://blog.canpan.info/nfkouhou/>) を参照いただきたい。

1) 大阪湾でクルーズ体験 ……小中高校生ら 97 人参加

海洋国・日本を担う次世代の小中高校生に海の大切さと魅力を知ってもらおうと、「海・船のお話会と体験乗船見学会」が 7 月 11 日、大阪港で行われた。30 度を超す猛暑の中、小中高校生と保護者計 97 人が参加、帆船型観光船「サンタマリア号」(566 ㍓) と航海訓練所の練習船「大成丸」(3,990 ㍓) に乗って船の仕組みや船内での暮らしを体験した。

大学生向けリーダー養成セミナー

■ 海学び舎事業、神戸で開催

大学生を対象とした「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」が25日、神戸海洋博物館で開催された。主催は「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会（事務局＝関西交通経済研究センター）。

「海でつながるプロジェクト」事業の一環として開催された。大学生にわが国の海洋文化の発展や海に係る歴史などを学んでもらい、海上からも神戸港について再発見してもらうことが目的。神戸松蔭女子学院大学と神戸山手大学の学生約80人が参加した。

セミナーでは、神戸港振興協会の森田潔参事が「四面を海に囲まれたわが国の海洋文化の発展」と題して

講演。神戸港の概要や輸出入している品など紹介。「神戸港は水深が深く、干満の差も1mしかなく、六甲山で風の影響を受けにくい。天然の良港として栄えた」と説明した。

ジャンボフェリーの加藤琢二会長（神戸大学大学院海事科学研究科客員教授）は「瀬戸の島々と神戸」で講演。瀬戸内海で海運会社が増えた出来事として、西南戦争で神戸が九州へ兵隊を送る輸送基地となったことを挙げた。自社は阪神／香川間の海上輸送から始まり、現在は高速バス、KSB瀬戸内海放送と事業を多角化していることを紹介。備讃瀬戸の伊吹島、塩飽諸島、佐柳島、女木島、小豆島の魅力も解説した。

神戸松蔭女子大学人間科学部生活



クルーズ乗船前の記念撮影

学科の青谷実知代准教授は「クルーズを通じた観光の楽しみについて」で講演。学生とフェリーで直島を訪れた体験や、学生が関心を持った点など説明し、「新しい観光モデルを神戸から発信してほしい」とした。

セミナー後は、神戸空港と関西国際空港との間に就航している高速船「かぜ」に乗船して神戸港周辺クルーズを体験。海上からポートアイランド、六甲アイランドなど森田氏の解説で見学した。

資料8 日刊CARGO (2015. 7. 31)

海学び舎事業、神戸で開催

大学生向けリーダー養成セミナー



クルーズ乗船前の記念撮影

大学生を対象とした「海の大切さと魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ」が25日、神戸海洋博物館で開催された。主催は「海学び舎」あらかると啓発事業実行委員会（事務局＝関西交通経済研究センター）。

「海でつながるプロジェクト」事業の一環として開催された。大学生にわが国の海洋文化の発展や海に係る歴史などを学んでもらい、海上からも神戸港について再発見してもらうことが目的。神戸松蔭女子学院大学と神戸山手大学の学生約80人が参加した。

セミナーでは、神戸港振興協会の森田

潔参事が「四面を海に囲まれた我が国の海洋文化の発展」と題して講演。神戸港の概要や輸出入している品など紹介。「神戸港は水深が深く、干満の差も1mしかなく、六甲山で風の影響を受けにくい。天然の良港として栄えた」と説明した。

ジャンボフェリーの加藤琢二会長（神戸大学大学院海事科学研究科客員教授）は「瀬戸の島々と神戸」で講演。瀬戸内海で海運会社が増えた出来事として、西南戦争で神戸が九州へ兵隊を送る輸送基地となったことを挙げた。自社は阪神と香川間の海上輸送から始まり、現在は高速バス、KSB瀬戸内海放送と事業を多角化していることを紹介。備讃瀬戸の伊吹島、塩飽諸島、佐柳島、女木島、小豆島の魅力も解説した。

神戸松蔭女子大学人間科学部生活学科の青谷実知代准教授は「クルーズを通じた観光の楽しみについて」で講演。学生とフェリーで直島を訪れた体験や、学生が関心を持った点など説明し、「新しい観光モデルを神戸から発信してほしい」とした。

セミナー後は、神戸空港と関西国際空港との間に就航している高速船「かぜ」に乗船して神戸港周辺クルーズを体験。海上からポートアイランド、六甲アイランドなど森田氏の解説で見学した。

森田参事が「四面を海に囲まれた我が国の海洋文化の発展」と題して講演。神戸港の概要や輸出入している品など紹介。「神戸港は水深が深く、干満の差も1mしかなく、六甲山で風の影響を受けにくい。天然の良港として栄えた」と説明した。

ジャンボフェリーの加藤琢二会長（神戸大学大学院海事科学研究科客員教授）は「瀬戸の島々と神戸」で講演。瀬戸内海で海運会社が増えた出来事として、西南戦争で神戸が九州へ兵隊を送る輸送基地となったことを挙げた。自社は阪神と香川間の海上輸送から始まり、現在は高速バス、KSB瀬戸内海放送と事業を多角化していることを紹介。備讃瀬戸の伊吹島、塩飽諸島、佐柳島、女木島、小豆島の魅力も解説した。

神戸松蔭女子大学人間科学部生活学科の青谷実知代准教授は「クルーズを通じた観光の楽しみについて」で講演。学生とフェリーで直島を訪れた体験や、学生が関心を持った点など説明し、「新しい観光モデルを神戸から発信してほしい」とした。

セミナー後は、神戸空港と関西国際空港との間に就航している高速船「かぜ」に乗船して神戸港周辺クルーズを体験。海上からポートアイランド、六甲アイランドなど森田氏の解説で見学した。

VI. 企画書

「海学び舎」あらかると啓発事業

企画書

平成27年5月

公益財団法人 関西交通経済研究センター

「海学び舎」あらかると啓発事業

【目的と骨子】

海洋国日本の国づくりや街おこしを担う、次世代の小学生・中学生や若者の皆さんに、海の大切さと海の魅力を知ってもらうことにより、海の恩恵に感謝し、併せて、広く海洋についての理解と関心を深めてもらうことを目的に、次の事業を実施する。

- 1) 大阪港を拠点として、小学生・中学生（交通遺児の皆さんも含む）とその保護者の方を対象に、海の仕事に従事する船員さんのことや船の構造のこと等をお話会し、併せて、海から見る、いつもとは違う目線から大阪港や沿岸の街並みなどを体感してもらうもの。
- 2) 神戸港を拠点として、若者（大学生）を対象に、わが国の海洋文化の発展や海に係わる歴史等を習得してもらい、併せて、海上から神戸港とその沖合の営みなどを再発見してもらうもの。これを通じて、若い世代の感覚を以って、小学生・中学生に海の重要性を啓発できるリーダーを育成することにより、「海学び舎」の輪を広げていく計画(アクションプラン)とする。

【実施計画】

1) 海・船のお話会と体験乗船見学会

1. 実施場所 大阪港天保山岸壁及び港内

2. 実施概要

(1) 実施日時 平成27年7月11日(土) 09:40~17:00

(2) 実施内容

①大阪港周遊(10:00~11:45)

旅客船「サンタマリア」(566G/T、定員791人、大阪水上バス㈱)

・オリエンテーション：船内説明等(特別室)

・船内探検：船内経路に関所を設け、海に関するクイズを解きゴールを目指す。

②大成丸の船内見学（13:00～15:00）

大成丸（3,990G/T、定員 176 人、航海訓練所練習船）

- ・海、船のお話と見学：海の大切さと船員の仕事などのお話
：船橋、操船シミュレータ、機関室等の見学

サンタマリア



大成丸



③海の生物観察（15:00～17:00）

海遊館の見学を通じ、海の生物と触れ合ったり観察することにより、より深く海に関心を抱いてもらう。

- (3) 参加してくれた対象者の皆さんから、「海学び舎絵手紙」（はがきサイズ）を当センター宛てに投函してもらおう。その内容に応じて沿岸市町村や海事関係者などに転送し、励ましや御礼の返事を投函してもらおう。これを通じてご縁をひろげていく。



3. 対象者（約100名）

①小学高学年及び中学生とその家族

- ・一般募集（大阪市広報、実行委員会メンバーのホームページ等により募集する）
- ・交通遺児約 50 名（独立行政法人自動車事故対策機構を介して、「交通遺児友の会」の遺児を募集する）

②報道関係等（実施前に公表し、取材要請を行い、海の日イベント実施を広くアピールする）

2) 海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナーとクルーズ

1. 実施場所 神戸港中突堤及び神戸港周辺

2. 実施概要

(1) 実施日時 平成27年7月25日(土) 12:30~17:00頃

(2) 実施内容

①セミナーの開催(12:30~15:00)

- ・会場 神戸海洋博物館ホール
- ・講演
 - ・森田 潔 氏 ((一社)神戸港振興協会経営管理部参事)
○テーマ 「四面を海に囲まれた我が国の海洋文化の発展」
 - ・加藤 琢二 氏 (ジャンボフェリー(株)代表取締役会長、神戸大学海事科学研究科客員教授)
○テーマ 「瀬戸の島々と神戸」
 - ・青谷 実知代 氏 (神戸松蔭女子学院大学准教授)
○テーマ 「クルーズを通じた観光の楽しみについて」

②神戸港、明石大橋周遊クルーズの実施(15:30~17:00)

- ・旅客船「かぜ」(99G/T、定員166名、29ノット)
神戸-関空ベイシャトルの予備船
- ・コース : 神戸中突堤発→神戸空港沖→ポートアイランド
→六甲アイランド→神戸中突堤
※通常では見られない施設や仕事、港の営みなどに重点を置く
- ・視察目的: いつもと違う視点として、海上から神戸港とその沖合の営みなどを再発見してもらおう。海や船、港湾など海上での説明により、より一層深理解を深めて頂く。

旅客船「かぜ」



- (3) 参加していただいた皆さんから、「海学び舎エッセイ（随想）200字版」をSNS（フェースブックなど）で当センターを含めて、お友達に発信してもらう。その内容に応じて、沿岸市町村や海事関係者などに情報を提供し、発信者とのやり取りが深まるように当センターが手配する。
これを通じてご縁をひろげていく。

- (4) ワークショップ（勉強会）の開催
上記事業実施後、参加学生の次のステップとして、これまで見たことのない気づきや学びとしてまとめるワークショップを開催する。
- ・会場 神戸海洋博物館ホール
 - ・発表 参加大学生
 - ・視察 神戸海洋博物館（神戸港の歴史等を学ぶ）

3. 対象者（約100名）

①関西を中心とした大学生

当センターが2008年度から実施している懸賞論文（提案・提言）に応募した大学や応募招請を行って来た大学を中心に募集

（候補大学）大阪市立大学、関西大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸大学、宝塚医療大学、帝塚山大学、姫路獨協大学、平安女子学院大学、和歌山大学、神戸学院大学 ほか

②報道関係等（実施前に公表し、取材要請を行い、海の日イベント実施を広くアピールする）

【実施体制】

①「海学び舎」あらかると実行委員会を設置

②実行委員

近畿旅客船協会、神戸旅客船協会、近畿内航船員確保対策協議会
大阪港振興協会、神戸港振興協会、大阪市港湾局、神戸市みなと総局
関西交通経済研究センター

③事務局：関西交通経済研究センター

④後援

大阪市教育委員会、近畿運輸局、神戸運輸監理部、自動車事故対策機構

【スケジュール】
2015 年度

実行委員会等	6月	7月	8月	9月	10月	11月
第1回「海学び舎」あらかると実行委員会	○					
大阪港事業参加者募集	○					
神戸港事業参加者募集	○					
大阪港事業実行委員会		○				
大阪港事業実施		7月11日				
神戸港事業実行委員会		○				
神戸港事業実施		7月25日				
神戸港事業ワークショップ開催				⇔		
報告書作成					○	
第2回「海学び舎」あらかると実行委員会					○	

2016 年度以降

目標の達成に向けて、参加対象者の規模（人数）の拡大を図るほか、拠点港、啓発メニューと実施体制などの精査を図り、次世代を担う皆さんへの本啓発事業（海の恩恵に感謝し、広く海洋についての理解と関心を深めてもらう事業）の定着化を目指す。

【当日のスケジュール】

【1】海・船のお話会と体験乗船見学会

平成27年7月11日（土）

09:00 スタッフ集合（大阪港サンタマリア乗船券売り場付近、スタッフは名札）

09:40 サンタマリア乗船券売り場付近で受付開始（屋内2F 机・椅子）
受付 名簿チェック、交通費、アンケート用紙、班別リボン等配付
受付後 誘導 1F乗船付近
受付担当 スタッフ
誘導担当 スタッフ

10:00 受付終了 記念写真（全員がそろい次第記念写真）

10:00 乗船開始 乗船後特別会議室へ
挨拶
水上バス見学要領説明

10:20 船内見学開始
誘導担当：水上バス
船内担当：スタッフ

10:50 船内見学終了

11:00 サンタマリア出港 自由見学（一般客と一緒に）
クイズラリー等実施

11:10 クルーズの時間を使って、昼食会場準備

11:45 サンタマリア入港 昼食会場に移動

12:00 昼食
昼食会場：創作フレンチレストラン（ビュッフェ デ ラ コット）
Tel 06-6576-5647
アンケート依頼

12:50 大成丸に移動
スタッフは昼食会場後片付け
大成丸前で記念写真

13:00 大成丸に乗船（航海訓練所の練習船）

①オリエンテーション：船長挨拶、注意事項説明等 約20分

②海のお話：海的重要性と船員の仕事（仮称）約45分

③船内見学：船橋、船内、操船シミュレータ、機関室等 約45分

船内見学は、児童を主体とする。幼児、保護者は船室で待機

④アンケート回収 約10分

15:00 大成丸下船し海遊館に移動
海遊館前で記念写真

15:10 海遊館入館 入館後は自由解散

16:00 スタッフ解散

【2】海の大切さや魅力を発信するリーダー養成セミナー&クルーズ

平成27年7月25日(土)

11:00 スタッフ集合(神戸海洋博物館ホール、スタッフは名札)

12:00 ホール前で受付開始

12:30 セミナー開催

(12:30) 開会挨拶

(12:50) 講演

・森田 潔 氏 ((一社)神戸港振興協会経営管理部参事)

○テーマ 「四面を海に囲まれた我が国の海洋文化の発展」

(13:30) ・加藤 琢二 氏 (ジャンボフェリー(株)代表取締役会長、神戸大学海事

科学研究科客員教授)

○テーマ 「瀬戸の島々と神戸」

(14:00) 休憩(10分)

(14:10) ・青谷 実知代 氏 (神戸松蔭女子学院大学准教授)

○テーマ 「クルーズを通じた観光の楽しみについて」(仮称)

(14:40) 質疑応答

(15:00) 閉会

15:00 神戸中突堤に移動

15:30 旅客船「かぜ」乗船

神戸港からポートアイランド、六甲アイランド等クルーズ

17:00 神戸中突堤 下船(解散)